



ピレスロイド系殺虫剤

# 害虫防除に!

てんさい、豆類  
ばれいしょ、小麦  
たまねぎ、にんじん など

## バイスロイド® 乳剤



ヨトウムシ



- 接触毒と食毒作用を有し、低薬量で優れた殺虫力を示します。
- てんさいのヨトウムシに優れた効果を示し、だいず・えだまめのマメシクイガ、ばれいしょのアブラムシ類にも有効です。
- 適用拡大でさらに使いやすくなりました。  
いんげんまめのアブラムシ類、インゲンマメゾウムシ



アブラムシ類



マメシクイガ



アブラムシ類



ネギアザミウマ



ヨトウムシ

# バイスロイド® 乳剤

農林水産省登録 第17106号  
シフルトリン……………5.0%  
人畜毒性：劇物

## 適用作物・害虫と使用方法

2017年5月現在の登録内容

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール当たり 使用液量(L)	使用時期	総使用回数*	使用方法			
てんさい	ヨトウムシ	2000~3000	100~300	収穫14日前まで	4回以内	散布			
	カメノコハマシ	500	25						
小麦	アブラムシ類	2000	100~300	収穫7日前まで	3回以内				
豆类(種実、ただし、だいず、あずき、いんげんまめを除く)			60~150						
だいず	マメシクイガ	1000~2000	100~300	収穫7日前まで	3回以内				
	カメムシ類	1000							
あずき	アブラムシ類	2000		100~300	収穫7日前まで		3回以内		
	アズキノメイガ								
いんげんまめ	アブラムシ類	2000			100~300		収穫7日前まで	3回以内	
	インゲンマメゾウムシ								
えだまめ	マメシクイガ	1000~2000				100~300	収穫14日前まで	3回以内	
	カメムシ類	1000							
ばれいしょ	アブラムシ類	2000~3000					100~300	収穫7日前まで	4回以内
キャベツ	アオムシ、コナガ	1000~2000							
	アブラムシ類								
	ヨトウムシ								
はくさい	アオムシ、コナガ	1000~2000	100~300	収穫7日前まで				4回以内	
	アブラムシ類								
だいこん	ヨトウムシ	2000		収穫3日前まで	3回以内				
たまねぎ	ネギアザミウマ								
ごぼう	アブラムシ類	2000		収穫前日まで	3回以内				
にんじん	アブラムシ類			収穫7日前まで					
レタス	ヨトウムシ	2000		収穫7日前まで	2回以内				

\* 印は本剤およびシフルトリンを含む農薬の総使用回数の制限を示します。  
本剤はこのほか、かんしょ、茶に登録があります。

### ⚠️ 使用上の注意事項

- ボルデー液との混用はさけて下さい。
- 蚕に長期間毒性がありますので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しないで下さい。
- 散布器具、作業衣などは桑用と必ず区別して下さい。
- ミツバチに対して影響がありますので、以下のことに注意して下さい。
  - ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにして下さい。
  - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
- 本剤の茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがありますので注意して下さい。
- てんさいに対して希釈倍数500倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度運動式地上液剤散布装置を使用して下さい。
- 本剤は自動車に散布液がかかると変色するおそれがありますので、散布液がかからないように注意して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病虫害防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病虫害防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

### ⚠️ 安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物なので、取扱いには十分注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 本剤による中毒に対しては、動物実験で硫酸アトロピン製剤とメトカルバモール製剤の併用投与が効果的であると報告されています。
- 原液は眼に対して強い刺激性がありますので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 原液は皮膚に対して刺激性がありますので皮膚に付着しないよう注意して下さい。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落として下さい。
- 本剤はのど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合がありますので注意して下さい。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用して下さい。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがありますので、河川、湖沼および海域等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。養殖池周辺での使用はさけて下さい。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがありますので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきって下さい。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 危険物第4類第2石油類に属しますので火気には十分注意して下さい。
- 火気をさけ、直射日光の当たらない鍵のかかる低温な場所に密栓して保管して下さい。盗難、紛失の際は、警察に届け出て下さい。
- 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収して下さい。
- 火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努めて下さい。
- 移取扱いは、ていねいに行ってください。

防除日誌を記帳しましょう。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

バイエル クロップサイエンス株式会社

北海道営業所 札幌市中央区北五条西6丁目2-2 〒060-0005  
www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室 ☎️ 0120-575-078 9:00~12:00、13:00~17:00  
土・日・祝日を除く

(F-1055 17.05.ZN)

お問い合わせはお近くのJAへ